

Agilent Technologies社

細胞外フラックスアナライザー

XF^e 96

機器概要セミナーのご案内

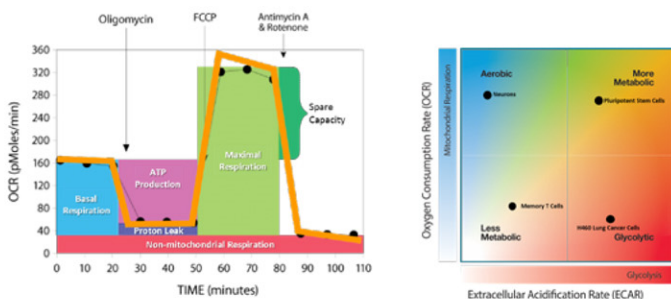


Agilent Technologies

細胞外フラックスアナライザー XF^e96の機器概要セミナーを開催致します。
セミナー前半では、測定原理や製品の特長について、後半では代表的なアプリケーションを
例に挙げてご説明致します。ぜひこの機会にご参加ください。

細胞のエネルギー代謝経路を 無侵襲・経時的にプロファイリング!

XF^e96は、細胞の主要なエネルギー代謝経路である 解糖、
TCAサイクル、ミトコンドリアによる好気呼吸の状態を、
細胞に対して無侵襲・高感度に経時的計測が可能、細胞
代謝アナライザーです。
細胞代謝アッセイをシンプルかつ効率的に行うことが可能です。



- 酸素消費速度(OCR)と細胞外酸性化速度(ECAR)より、
酸化的リン酸化や解糖系などの活性を同時に評価。
- 1ウェルにつき最大4種類の化合物を
インジェクション可能。

がん研究 循環器疾患 神経変性疾患
糖尿病 肥満 etc.

日時	2016年11月18日(金) 16:00~17:30
場所	九州大学 馬出キャンパス コラボステーションI 共同セミナー室
お問い合わせ	プライムテック株式会社 村瀬稔 Tel : 06-6310-8077 Mail : mmurase@primetech.co.jp

XFシリーズ 日本総販売店

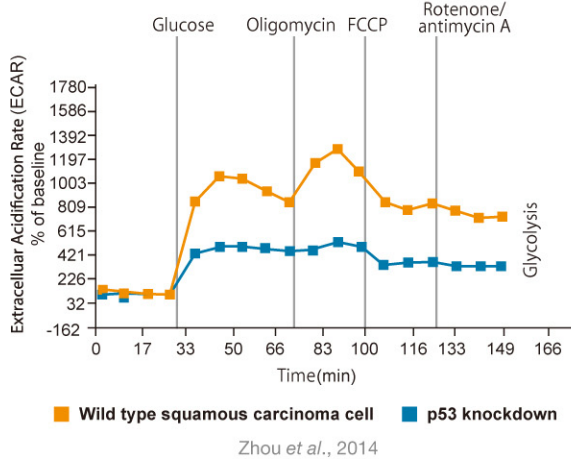


プライムテック株式会社
東京都文京区小石川1-3-25 小石川大国ビル2F

Phone: [東京] 03-3816-0851 [大阪] 06-6310-8077
<http://www.primetech.co.jp> sales@primetech.co.jp

協賛 正晃株式会社

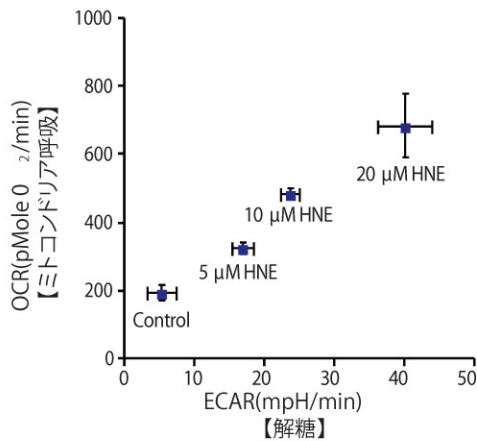
がん細胞における作用経路と作用機構



XFアッセイによって、p53経路がワールブルグ代謝を元に戻すことにおいて重要であることが明らかになった事例。p53遺伝子をノックダウンした扁平上皮がんにおいて、解糖能が低下した結果によって示されています。

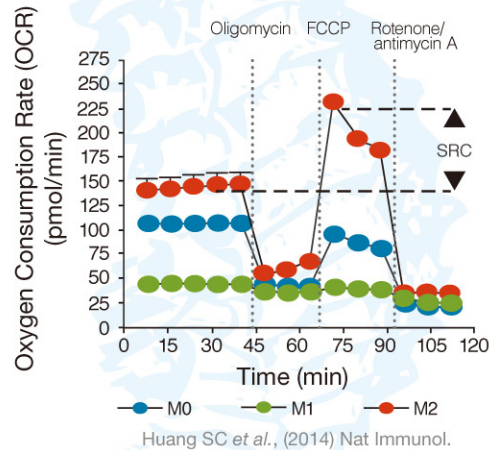
がん細胞治療の選択肢として、細胞増殖の抑制が行われてきました。これらの治療は、時として意図しない、受け入れがたい副作用を生じることがあります。XFを使ってがん細胞の代謝を詳しく理解することで、がん細胞に対する効果だけでなく、全身への影響に着目した副作用の少ない、選択的な治療薬を探索されることが期待されます。

HNE に対するラット心筋細胞



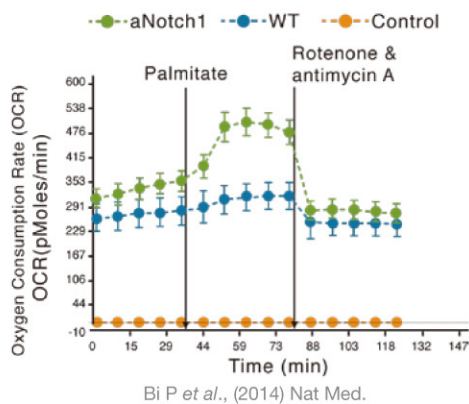
HNEは濃度依存的に解糖とミトコンドリア呼吸の両方を刺激し、このことは、酸化ストレスに対するエネルギー需要の増加と一致しています。

マウス骨髄由来マクロファージ



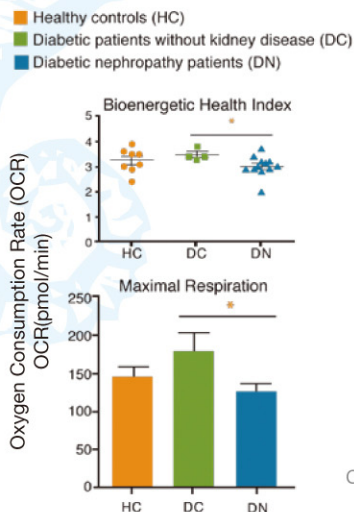
活性化骨髄由来マクロファージの各サブタイプの代謝の特徴が、XFミトストレステストによってプロファイルされた事例。

マウス白色脂肪細胞



Notchシグナリングの抑制が脂肪酸酸化を増加させることをXFテクノロジーが明らかにした事例。

ヒト末梢血単核球



糖尿病性腎症患者におけるミトコンドリア最大呼吸の低下と患者のBioenergetic Health Index (BHI)が相関することを、XFミトストレステストが明らかにした事例。

